

電話予約をする
と店頭でも買える
旬の魚を使った
宇賀幸のこだわりのお弁当。



元々は5代つづき魚屋で先代から仕出し・弁当を始めました。今も調理場に立つ先代と当代が腕を振るい、名店の味を守っています。とくに、讃岐特産大豆を使った秘伝の白味噌に漬けた「鱈の味噌漬け」が有名でネットによるお取り寄せでも大人気です。

宇賀幸

- 📍 香川県観音寺市栄町2-4-17
- ☎ 0875-25-2848
- 🕒 8:00~17:00
- 📅 不定休
- 🅕 あり



【物語】昭和40年3月、主人公は、ラジオから流れてきたエレキサウンドに大きな衝撃を受け、高校に入学するとバンドを結成。高校生活のすべてをロックにかける。楽器を買うためにアルバイトにいそむ日々。メンバーとの友情。淡い恋心。海沿いの小さな町を舞台に、若者の熱く切ない3年が描かれる。

『青春デンデケデケデケ』デラックス版 / DVD ¥4,700(税抜) / 発売元: NBCユニバーサル・エンターテイメント ※2019年3月の情報です。



映画では「しーさん」と妹の悦子が、武士に扮したちっくんを見送った場所として登場する財田川沿いの風景。手前のレンガ橋(琴弾橋)の向こうに見えるアーチ形の三架橋は琴弾八幡宮への「参賀」の際に渡ることから称されたともいわれます。

市の中心部から少し足を伸ばすと、市指定文化財の五百羅漢で知られる七宝山蓮光院羅漢寺があります。大同3年(808)に弘法大師によって開基された真言宗の古刹で、松木造、高さ約30cmの羅漢像500体すべてが安置されています。映画ではバンドメンバーの富士男の実家となり、寺内の一室には富士男の部屋を作り込み、いくつもの重要なシーンが撮影されました。公開から25年以上経った現在も熱心な映画ファンが訪れます。

九十九山の麓に佇む 五百羅漢の寺「羅漢寺」

息が、ロックバンド「デジャヴ」のメンバーで、本作の制作と方言指導でロケに参加したことが縁で、毎日、献立をかせ、旬の魚が味わえる贅沢なロケ弁を届けました。その美味しさや心配りに、出演者やスタッフみんなが大いに励まされたそうです。

映画『青春デンデケデケデケ』のロケ地へ

香川県 観音寺市

橋のある風景に 物語がよみがえる

観音寺市の中心部を車で走ると、ロケ地マップを手にしていきななくとも、いつしか作品の世界へと引き込まれます。財田川に架かるレンガ橋や三架橋、大小路橋は、主人公ちっくんの通学路であり、青春のさまざまなシーンを彩る風景でした。三架橋にほど近い緑豊かな山には琴弾八幡宮が鎮座し、381段の長い石段は、バンド練習の場面にも登場しました。創建大宝3年(703)の由緒を紐解くと、ある時、海に艘の船が現れ、高妙神秘的な琴の音とともに八幡大菩薩が降臨したと伝えられています。神秘的な琴の音と、ちっくんが啓示を受けたエレキサウンドには深い縁があるのかもしれない。



琴弾八幡宮の石段の登り口の石の鳥居は丸亀藩主山崎虎之助治頼が承応2年(1653)正月に奉納したものです。



2kmにわたって白い砂浜がつづき、海水浴場としても賑わう遠浅の有明浜。離灘に沈む夕陽は絶景です。

エレキ少年が
青春を駆け抜けた
叙情あふれる風景をゆく。

原作小説の作者が青春時代を過ごした観音寺を舞台にすべてのロケーションを敢行した『青春デンデケデケデケ』。市内を散策するとスクリーンで観た風景が自然と目にとまり、新たな感動とロケ地を旅する楽しさが広がります。

羅漢堂を建立し、筑紫から五百羅漢を招聘。しかし、戦国時代に幾度か戦火に見舞われ、延宝3年(1675)に再び五百体すべてを揃え、現在も安置しています。

七宝山蓮光院羅漢寺

- 📍 香川県観音寺市室本町314
- ☎ 0875-25-2266
- 🅕 あり

富士男とちっくんが内密な話をする時によく登場した羅漢寺の鐘楼。



東西122m、南北90mの巨大な銭形砂絵。日没から22時まで美しくライトアップされます。

いっぶく スポット

新感覚の味を発信する路地裏のかまぼこ屋

「山地蒲鉾」

古くから離灘の豊富な魚を食材とした蒲鉾の一大産地だった観音寺。当地で、ひと味ちがう蒲鉾作りチャレンジし、「カワジャン」のヒット商品で知られるのが山地蒲鉾です。路地裏の風情漂うお店を訪ねると、いいだこ天や骨付き鶏天など、新感覚の練り製品と出会えます。

- 📍 香川県観音寺市観音寺町甲2695
- ☎ 0875-25-3609
- 🕒 10:00~18:00
- 📅 年末年始 🅕 あり

魚のすり身に鶏皮とごぼうを練り込んだ大ヒット商品「やまのかわジャン」



「弁当の味が午後の俳優の顔を变える」。そんな名言をもつ監督を喜ばせたのが、仕出しの名店「宇賀幸」の弁当でした。先代社長のこ子

ロケ隊を支えた 名店「宇賀幸」の味

ちっくんと富士男が進学について話すシーンに登場した琴弾山頂の展望台からは観音寺を代表する名勝「銭形砂絵」を俯瞰することが出来ます。この巨大な寛永通宝は、寛永10年(1633)に藩主・生駒高俊公を歓迎するために二夜につくられたといわれています。さらに、砂絵の向こうには白砂青松百選に認定された観音寺松原(瀬戸内海国立公園)が広がり、ちっくんと幸代が初デートをした有明浜海水浴場が見えます。